

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月10日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【多核種除去設備の処理水貯槽34(B-C9)の水位計の指示不良について】 多核種除去設備の処理水貯槽34(B-C9)において、水位の高警報が発生。 現場の漏えい確認および隣接するタンク(B-C6)との連結操作を行い、有意な水位変動がないことから水位計の不良と推定。 水移送は実施していないため、系統への影響はない。 当該水位計の点検・手入れを実施済。	GⅢ	10月5日
2	【2号機復水貯蔵タンクの炉注供給流量計(FI-004)の指示不良について】 2号機復水貯蔵タンクの炉注供給流量計(FI-004)の指示が通常約3m <sup>3</sup> /hのところ5m <sup>3</sup> /hと指示し、他の流量計とも差異が生じていることを確認。 流量は、複数の流量計で監視しているため運転への影響はない。 今後、点検手入れ予定。	GⅢ	10月8日